

## 今月の技術対策 (水稲編)

留萌農業改良普及センター

TEL : 0164-62-1779 FAX : 62-2474

E-mail: rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp

畑作・園芸編も  
HPで公開中!

### 1 融雪促進に努めましょう

○今年の積雪深は、平年並または平年より多くなっています(表1)が、2月23日発表の1ヶ月予報(2月25日~3月24日)によると、平均気温が高く、降雪量は少なくなる見込みです。

水田の乾土効果を高めるため、融雪促進、ほ場の早期乾燥に取組み、初期生育を向上させましょう。

表1 令和5年積雪深

(アメダス令和5年2月27日)現在

アメダスポイント	積雪深(平年比)
古丹別(苫前)	99cm (98%)
羽幌	92cm (116%)
初山別	74cm (130%)

※遠別は積雪深データなし

#### 【育苗ハウスの融雪促進】

- ・3月下旬までにハウスの融雪・ビニールがけを行いましょ。ハウス設置後は、天候の良い日に肩や裾を解放して、床土の乾燥や地温上昇をすすめましょ。
  - ・育苗中の病害発生防止のため、早期に土壌pHを確認し、4.5~5.0に調整しましょ。
- ※資材を投入してからpHが変化するまでに2~3週間程度かかります。

#### 【本田の融雪促進】

- ・融雪材の散布適期は「最高気温が0℃以上、平均気温が-3℃以上」が目安です(表2)。
- ・ケイカルの場合の散布量は60kg以上/10aで、ムラができるようにすると、表面積が広がり融雪が早まります。
- ・散布後に20cm以上の降雪があった場合は再散布が必要です。
- ・滞水部分は溝掘りなどで排水を促進しましょ。

表2 融雪材散布適期

(アメダス平年値より)

アメダス	散布開始目安
羽幌	2月26日
初山別	2月28日
遠別	3月8日

※古丹別は気温データがないため  
羽幌を参考としてください

この冬は雪による事故が多発、除雪時は転落や落雪に注意しましょ!